

開催にあたって

「海無し県」長野にもかつては「北部フォッサマグナの海」と呼ばれる海が広がっていました。この海は、約1600万年前に古い日本海の誕生とも関連して成立し、以降は日本海の一部として変遷をたどってきました。従って、この海域の当時の実像を知るためには、現在と過去の日本海について知ることが不可欠です。

この特別展は、日本海と北部フォッサマグナ海域の海の変遷と環境変化を、生物相の移り変わりとの関わり合いの面からとらえ、北部フォッサマグナの海の実体について考えようとするものです。信州で海水浴ができた大昔を思い浮かべながらご覧いただきたいと思います。

長野市立博物館長

目次

1 日本海ってどんな海？	2
(1) 日本海とは	2
(2) 日本海の海水と生物	5
(3) 日本海の貝と環境	10
2 大昔の日本海	14
(1) 日本は大陸だった！—原始日本海の時代—	14
(2) 日本海の誕生—日本海トロピカル時代—	16
(3) 信州も海底になった—フォッサマグナの海—	20
(4) 古日本湾の冷たい海	25
(5) 大氷河時代の日本海—寒くなったり暖かくなったり—	34
3 海から陸へ—信州の大地—	42
(1) 北アルプスと河東山地—高くなる山々と海の関係—	42
(2) 地層から読み解く海の移り変わり	44
(3) 長野盆地の形成	48

例言

1. 本書は、平成14年8月4日から9月23日までを会期とする「海と大地の物語—古日本海と信州の海—」の展示解説です。
2. 本書の構成は、必ずしも展示順序とは一致しません。また、本書には収録されていない展示資料もあります。
3. 資料の提供をはじめ、ご指導ご協力いただいた方々のお名前は巻末に掲載させていただきました。深く感謝の意を表します。
4. 期間中、都合により展示資料を変更することがあります。
5. 本書の執筆・構成は、当館職員の協力を得て学芸員畠山幸司が担当しました。
6. 本書に掲載した写真は、提供を受けたものそれぞれ提供者を明記し、それ以外の物は当館学芸員山口明、畠山幸司が撮影しました。